

令和 4 (2022) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	公務員試験対策講座 1 文章理解 (Reading comprehension)					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)		
科目区分	対策講座	必修・ 選択区分	選択	単位数	0	配当年次	1～4 年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目／地域志向科目／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要

公務員試験対策における文章理解は、中学校や高校までの現代文・古文・英文も含む内容で、教養試験においてはもっとも出題数の多い重点科目である。文章の趣旨を理解するだけでなく、論理性も要求される。文章の読解力を高めると共に論作文試験に必要な書き方のポイントも体得する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

③ 授業の進め方・指示事項

公務員の筆記試験（一次試験）合格に必要な基礎知識を網羅して、県警や市役所等の合格水準を示す。基礎学力と得点力を身につけるために、文章理解の問題演習と小論文の錬成、漢字練習を行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

中学校レベルの漢字読解および作文能力は公務員試験突破には不可欠である。地方公務員（市役所・県警）を本気で目指す者が主な対象だが、就職の筆記試験に備えたい者にも受講を勧める。単位にはならないが、基礎学力を高めるためのペースメーカーとして活用されるなら本望である。

⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 適切な用語表記ができて、漢字検定 3 級から 2 級レベルの問題を平均して 70%以上正答できる。
- (ii) SPI や公務員過去問の要旨把握・文章入れ替えの紐づけ問題を平均して 60%以上正答できる。
- (iii) 小論文において、与えられた課題事例や社会状況を踏まえ、時間内に明文化することができる。

⑥ テキスト（教科書）

テキスト指定なし。必要に応じてレジュメや問題プリントを配布する。

⑦ 参考図書・指定図書

- ・出口汪『出口汪の使える論理力』(2014)フォレスト出版
- ・『2023 年版大卒警察官教養試験過去問 350』実務教育出版
- ・『2023 年版市役所上・中級教養専門試験過去問 500』実務教育出版
- ・瀧口雅仁『公務員試験文章理解すぐ解ける直感ルールブック』実務教育出版
- ・中村一樹『中村流市役所合格必勝過去問第 3 版』三修社

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 適切な用語表記	漢検 2 級相当で文書作成も容易にこなす。	漢検準 2 級相当で見本を見て文書作れる。	漢検準 2～3 級相当で誤字脱字が殆どない。	漢検 3 級相当の用語に解答を見て直せる。	漢検 3 級未満、適切な用語が使えない。
(ii) 要旨把握と紐付け	文章の趣旨に沿い、並べ替えも対応できる。	文章の趣旨や並べ替えも半分は正答する。	基本的な文章趣旨を半分以上正解する。	解答を見て、ようやく趣旨を納得できる。	解答を見てもその意図が把握できない。
(iii) 明文化と事例考察	課題を的確に把握し、意見を時間内に明文化できる。	課題を把握し、意見を時間内に文章としてまとめられる。	課題を把握し、時間内に形として文章にはできる。	課題を把握するが、時間内に文章にまとまりきらない。	課題の把握も文章化も全く覚束ない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表	授業への参加意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 適切な用語表記			10%			10%		20%
(ii) 要旨把握と紐付け	50%					10%		60%
(iii) 明文化・事例考察			10%			10%		20%
フィードバックの方法	提出物は確認・添削後適宜返却する。授業以外でも、個別の添削指導も要請があれば行う。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
小論文を制するにはある程度の訓練が要る。原稿用紙の使いかたの基本から、受かるためにウケる文章表現といった応用まで、徹底的に文章理解を極めたい。過去問なども積極的に紹介したい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション、「行間」はどこにある？	読解演習および課題を自力で解き、解き方のポイントを身につける。	60 分
2	長文読解（現代文）①	読解演習および課題を自力で解き、解き方のポイントを身につける。	60 分
3	長文読解（現代文）②	読解演習および課題を自力で解き、解き方のポイントを身につける。	60 分

4	長文読解（現代文）③	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
5	文章の並べ替え①	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
6	文章の並べ替え②	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
7	小論文演習①原稿用紙の使い方	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
8	小論文練習②漢字とかなの使い分け	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
9	小論文練習③「伝える」ことを明確にする	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
10	小論文演習④表現を豊かにする	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
11	論作文：出題テーマの傾向と対策	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
12	時事問題をテーマに書く①	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
13	時事問題をテーマに書く②	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
14	時事問題をテーマに書く③	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分
15	総括～論作文とコミュニケーション	読解演習および課題を自力で解き、 解き方のポイントを身につける。	60 分

⑫ アクティブラーニングについて
課題内容を各回の始めにその解説と考察を行い、学修内容をフィードバックする。試験に出る知識を講釈するだけでなく、ブレインストーミングを積極的に行う。試験に勝つための勉強方法も惜しみなく披露する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性